

平成20年度決算報告

将来を見据えた健全な財政を目指して更なる
財源の確保と歳出の抑制・適正化に努めます。

平成20年度の武雄市の決算概要をお知らせします。決算は、議会で審査が行われ12月議会で認定されます。

一般会計

一般会計とは、皆さんからの税金などを財源として、市の基本的な行政運営を行う会計のことです。

平成20年度の一般会計決算は、歳入総額206億6470万円、歳出総額200億4059万円で、歳入歳出の差引は6億2411万円となりました。

歳入

歳入総額は、前年度と比べて4億9955万円（2.5%）の増となりました。その要因として、市民税・固定資産税の増加、地方交付税の増加があげられます。

また、市が独自に確保できる自主財源は、前年度と比べて3億1081万円（4.0%）の増加となりました。自主財源とは、市税や使用料など、市が自主的に収入できる財源です。

歳出

歳出総額は、前年度と比べて3億8207万円（1.9%）の増となりました。その要因

として、福祉サービスなどに使われる扶助費や高利率の市債を繰上償還したことによる公債費が大幅に増加したことがあげられます。

また、支出が義務付けられ任意に削減できない義務的経費が歳出全体の約半分を占めており、市が自由に使える経費が限られている状況です。歳出を目的別に見てみると、社会福祉、児童福祉、生活保護などに使われる民生費、借入金返済に充てる公債費の割合が高くなっています。

特別会計

特別な事業や、料金収入などにより特定の事業を行う場合に経理を明確に区分するため、一般会計とは別に9つの特別会計を設けています。平成20年度の決算は左記のとおりです。

企業会計

企業会計とは、特定の事業を行う会計のうち、地方公営企業法の適用を受けて独立採算を行う会計で、武雄市には3つの会計があります。平成20年度の決算は左記のとおりです。



特別会計

会計区分	歳入	歳出	差引
国民健康保険	56億504万円	56億9448万円	△8944万円
老人保健	6億2397万円	6億2544万円	△147万円
後期高齢者医療	5億457万円	5億208万円	249万円
農業集落排水事業	6億8215万円	6億7361万円	854万円
公共下水道事業	3億6442万円	3億6374万円	68万円
土地区画整理事業	3億2438万円	3億2152万円	286万円
競輪事業	158億5754万円	154億6283万円	3億9471万円
給湯事業	2425万円	2062万円	363万円
交通災害共済	19万560円	19万円	560円

企業会計

事業	収入	支出	差引	
水道事業	収益的	13億8391万円	13億1109万円	7282万円
	資本的	7226万円	17億6157万円	△16億8931万円
工業用水道事業	収益的	7020万円	5840万円	1180万円
	資本的	5770万円	9572万円	△3802万円
病院事業	収益的	12億1947万円	16億1204万円	△3億9257万円
	資本的	5997万円	1億5160万円	△9163万円

政策部 財政課
担当:吉丸



市債(市の借金)と基金(市の貯金)

これまで以上に学校や道路、上下水道などの整備のために借り入れた市全体(一般会計、特別会計、企業会計の合計)の市債残高は、平成20年度で約413億円(市民一人あたり約80万円)となっています。一方、基金残高は約119億円(市民一人あたり約23万円)となっています。

■平成20年度決算に係る健全化判断比率及び 資金不足比率について

「地方公共団体の財政健全化に関する法律」に基づき、
武雄市では次の指標を公表し
ています。

◇健全化判断比率

(下表の4種類の指標)

平成20年度決算に係る健全化判断比率は、下表のとおりどの指標についても早期健全化基準、財政再生基準を下回っています。

◇資金不足比率

(公営企業ごとの資金の不足額が、その事業規模に対してどの程度あるかを表す指標)

各公営企業会計における「資金不足比率」については、資金不足を生じた公営企業会計がないため、該当はありません。
※公営企業会計とは、武雄市においては、水道事業、工業用水道事業、病院事業の企業会計と、農業集落排水事業、

公共下水道事業、給湯事業の特別会計をいいます。

指標名	内 容	比 率	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	普通会計における赤字額の標準財政規模に対する比率	なし (黒字比率4.52%)	12.98%	20.00%
連結実質赤字比率	普通会計だけでなく全会計における赤字額の標準財政規模に対する比率	なし (黒字比率12.2%)	17.98%	40.00%
実質公債費比率	普通会計が負担する公債費などの標準財政規模に対する比率	15.4%	25.0%	35.0%
将来負担比率	普通会計が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率	75.9%	350.0%	—

※普通会計…武雄市では一般会計と土地区画整理事業特別会計が対象になります。
※標準財政規模…市制や普通交付金など通常の一般財源の種類で、各自治体の財政的な規模を表します。
※早期健全化基準を超えると、財政健全化計画を国に報告する必要があります。
※財政再生基準を超えると、財政再生団体となり、財政再生計画を作成し、国の同意を得なければなりません。

平成21年度上半期 歳入歳出予算の執行状況

武雄市財政状況書に関する条例に基づき、平成21年度上半期(4～9月)の財政状況を公表します。

	予算額	収入済額	執行率	支出済額	執行率	
一 般 会 計	228億7382万円	106億6665万円	46.6%	83億6868万円	36.6%	
特 別 会 計	国民健康保険	57億8098万円	19億6641万円	34.0%	26億678万円	45.1%
	老人保健	1700万円	30万円	1.8%	207万円	12.2%
	後期高齢者医療	5億8558万円	1億6140万円	27.6%	1億3335万円	22.8%
	農業集落排水事業	6億8018万円	5089万円	7.5%	3億2534万円	47.8%
	公共下水道事業	3億2857万円	1728万円	5.3%	1億1628万円	35.4%
	戸別浄化槽事業	1億5350万円	303万円	2.0%	2510万円	16.4%
	土地区画整理事業	10億1312万円	373万円	0.4%	2億7009万円	26.7%
	競 輪 事 業	145億1731万円	23億3488万円	16.1%	30億7836万円	21.2%
	給 湯 事 業	2000万円	1148万円	57.4%	226万円	11.3%
	新工業団地整備事業	8億3030万円	0万円	0.0%	3250万円	3.9%
	交通災害共済	104万円	0万円	0.0%	0万円	0.0%

●水道事業会計

区分	予算額	収入・支出済額	執行率
収益的	収入	13億6392万円	5億9359万円 43.5%
	支出	13億6675万円	5億7515万円 42.1%
資本的	収入	2億1946万円	91万円 0.4%
	支出	7億1938万円	2億1804万円 30.3%

●工業用水道事業会計

区分	予算額	収入・支出済額	執行率
収益的	収入	6442万円	237475円 36.9%
	支出	5159万円	214675円 41.6%
資本的	収入	0万円	0万円 0.0%
	支出	3539万円	177975円 50.3%

●病院事業会計

区分	予算額	収入・支出済額	執行率
収益的	収入	19億8010万円	11億3444万円 57.3%
	支出	22億1023万円	10億4096万円 47.1%
資本的	収入	11億5460万円	1億1973万円 10.4%
	支出	12億5884万円	6409万円 5.1%

●一般会計財産の取得、処分状況

土地の取得…武雄北部区画整理事業用地ほか
土地の処分…旧朝日・朝日第二保育所、保養村事業用地ほか
備品の取得…保養村浮橋橋、給食センター冷蔵庫ほか

●一般会計市債残高 227億4052万円

財務省	41.9%	市中銀行等金融機関	38.1%
地方公共団体金融機関	15.8%	保険会社等	4.2%